

1. 千年の森便り No.65

2008年10月23日発行

ちば千年の森をつくる会

<http://www7a.biglobe.ne.jp/~toyofusajima/index.html>

E-mail:tgysk665@yahoo.co.jp TEL&FAX:043-432-1450

お知らせ

○チェーンソー安全研修；11月29日（土曜日）ちば里山センター主催の安全研修が豊英島で実施されます。実施要領は別記4頁。受講希望者は上記事務局アドレス宛て10月31日までにお申し込みください。

○忘年会のご案内；11月29日（土曜日）17：30～20：00、於鎌田屋旅館、会費約1万円、日帰りは約5千円。参加希望者は上記事務局アドレス又は電話へ10月31日までにお申し込みください。

○次回定例活動日；11月30日（日曜日）当日参加者は第2駐車場9：30集合、主な活動は広葉樹林調査（調査区域設定、樹木配置図・樹冠投影図作成、樹高・胸高直径測定）リース教室など。リース教室希望者は上記アドレス又は電話にお申込み下さい。

活動の記録

10月19日（日曜日）曇 キノコ観察会 吹春講師、会員及びビジター合計23名

恒例の吹春講師指導のキノコ観察会、会員の参加は少ないものの、多くの来訪者をお迎えし大盛況でした。今年はキノコにも恵まれ「豊英島はキノコの宝庫」を再認識する一日となりました。吹春先生のキノコ解説は分かりやすく、興味深く勉強できました。有難うございました。昼食時は豊英島のサクラシメジやウラベニホテイシメジと長谷川さんの畑の野菜たっぷりのキノコ汁を美味しく頂きました、ご馳走様でした。遠路来訪された皆様、お陰様で楽しい一日でした。お疲れ様でした。



○キノコ観察ツアー；昨年・一昨年とは方角を変え南側のマダケ林からホテイ岬方面を吹春講師の解説で観察ツアー。出発間もなくコナラ林東側観察路沿いにサクラシメジがコナラの木を囲んでつくるリング状の群生を発見、歓声と先生の「外生菌根菌」のお話、撮影とキノコ汁用のキノコ狩りに忙しい。マダケ林では見事なウラベニホテイシメジの群生を発見「こんな見事なウラベニホテイシメジに初めて」という感嘆の声、シャッターと「外生菌根菌」の復習。ホテイ岬ではコウタケの見事な群生、特にニホンジカ対策植生保護柵の内側に径30センチの巨大なコウタケを発見、感動の声、そしてモデル嬢との記念撮影（写真次頁）。

○バカマツタケ探索；福島・鶴沢別動隊はバカマツタケ自生の危険区域を探索。（3頁に鶴沢会員の探索記）

○キノコの同定と解説；この日採取したキノコを広場に集め、吹春講師に同定して頂き、昼食後キノコの山を囲み勉強会。教材プリント「顕微鏡をつかわない、やわらかいキノコのわけかた」に従いベニタケ科から始まる孢子の色で見分けるキノコの解説、キノコ相を通して見る「千年の森」と東南アジアや極東とのつながり、毒キノコの安全な味見、ウラベニホテイシメジとクサウラベニタケの見分け方、地方によって異なる食用と毒、食用キノコの調理法と食べ方など話題は尽きない。食べ方と調理法には特に詳しい参加者もいて、楽しい勉強会でした。この日観察・採取・同定されたキノコは次頁の35種。





サクラシメジ



ウラベニホテイシメジ



ホウキタケ



チャツムタケ属の未同定種

採取・同定されたキノコ

クロハツ、クロハツモドキ、キチチタケ、トビチャチチタケ、サクラシメジ、バカマツタケ、カキシメジ、ミネシメジ、ハエトリシメジ、ツエタケ、アカチャツエタケ、コテングタケモドキ、テングタケ、フクロツルタケ、ハイカグラテングタケ、ガンタケ、クサウラベニタケ、ウラベニホテイシメジ、ミヤマザラエノヒトヨタケ、ニガクリタケ、オニフウセンタケ、ヌメリイグチ、ヤマドリタケモドキ、コウタケ、ケロウジ、アオロウジ、コウモリタケ、キアシグロタケ、トキイロラッパタケ、クロラッパタケ、ウスタケ、フジウスタケ、ハナビラニカワタケ、アラゲキクラゲ、ノウタケ

翌日吹春講師から以下の感想文を寄稿いただき、「豊英島はきのこの宝庫」という認識に確信を強めました。有難うございました。参加の皆様から頂いた感想文も紹介させていただきます。

「千年の森」のきのこ

千葉県立中央博分館 海の博物館 吹春俊光

食用の対象になるきのこは、競争が激しい。千年の森はそんな競争の隠れ里である。我々の競合相手は、池を泳いできたシカしかいなかった。人と競争しないと、こんなに沢山採れるのか、というくらい、今回の観察会では食欲の対象となるきのこが採れた。びっくり仰天である。これが房総の山の底力なんだろう。しかし、千年の森の手入れは始まったばかりである。私見によれば、房総の里山のコナラ林では、手入れをはじめて、少しずつきのこ相が変化していき、10年から15年くらいたつと、手入れの効果がでてくるようにおもう。現在の千年の森の手入れは始まったばかりである。そして現在のきのこ相は、まだ湖に沈む前の、房総丘陵の尾根付近のきのこ相が色濃く残っている状態だと思う。これからの継続した山の手入れで、これからどんなきのこが出てくるか、房総丘陵のきのこ相の特徴が強調されていくだけなのか、あるいは別の要素が加わっていくのか、どんな風に移り変わっていくのか、楽しみである。

感想

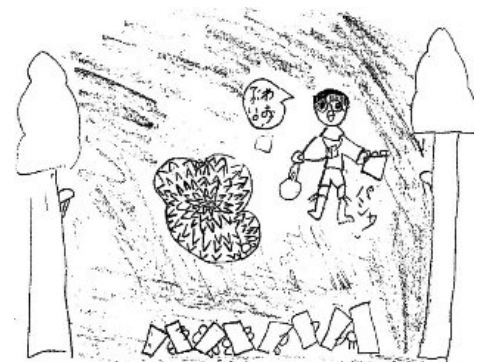
千葉市立星久喜小学校4年 森 彩絵里（さえり）



顔よりも大きなコウタケ

私は今まで大分の「夢の大橋」しかわったことがありませんでした。でも今日わったつり橋は「夢の大橋」よりも大きくゆれてこわかったです。

きのこはとくにびっくりしたのが「こうたけ」です。私の顔よりもでかくて、山には毒キノコや、食べられるキノコ、よくわからないものも、ちょっとあったけど勉強になってよかったです。



バカマツタケ探索記

鵜沢和男会員

昨年はじめてバカマツタケを知り、今年福島さんと探索に。昔履いた革の登山靴を履き、気合を入れて岬の危険地帯の崖を降りてみました。早々に福島さんの「見つけた！」との声に、目と鼻に神経を集中して探索するも、それらしき匂いはするが姿が見えず、一段崖を降りてみると匂いはなくなり、先ほどの場所が気になり戻って落葉を掃うと、そこには記憶にある形と匂いのキノコが！少しトラバースしてみるとそこにも小指大ほどの物がありました。クロムヨウランの自生地から広場に戻りながらウラベニホテイシメジ・クロハツを収穫し、広場の近辺でコウタケを見つけました。今回崖を降りましたが、登りながらの探索がベストと思い次回の反省にしたいと思います。

豊英島を訪ねて

木更津市 高鷹（こうたか）建志

昨日の観察会大変有難うございました。房総の山々を歩き周り知り尽くしたつもりですが、始めて豊英島を知りました。林相の良さ、森の美しさ、キノコの豊かさに驚き感激しました。そして会員の方々のキノコへの情熱にも深く感じ入りました。機会がありましたら是非島の残りの部分を観察したいものと思っております。

楽しいキノコ観察会でした

東京都世田谷区 洞田貫（どうだぬき）夫妻

これまで、キノコ図鑑を片手に野生キノコの名前を覚えてきましたが、なかなか図鑑の写真と実物を一致させることができず、これだと判断できることが少なかったのですが、やはり百聞は一見にしかずで、観察会に参加でき、自然の状態でキノコの名前を覚えることができ有意義で楽しい時間を過ごすことができました。また、機会がありましたら参加させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。遅くなりましたが、先日の飛び入り参加のお礼を申し上げます。

豊英島その他のニュース

- ニホンジカ1頭；19日11時過ぎ、キノコ観察中の高橋さんなどはコナラ林南（杭13-8地点）にニホンジカ成獣一頭を確認。角が見えなかったので多分メス。後を追いましたが西側斜面に逃走したとのことです。
- イワタバコ発見；福島会員はバカマツタケ探索中に崖地でイワタバコを発見しました。豊英島初の確認です。6月の開花が楽しみです。（立入り禁止区域のため特別の準備と装備をした人に限り観察撮影が許可されます）
- コナラ更新林；伊藤会員はコナラ実生の生育状況を調査しました。結果は次号で報告します。